

平成 30年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生きがい推進課、文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	219,700,000円(平成30年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期
利用者数(単位:人)		89,404	113,653	91,423	104,402	93,500
各室稼働状況(%)	大研修室	81.4	87.1	87.6	85.9	79.1
	中研修室	92.7	94.7	94.4	93.5	93.8
	研修室50	91.0	90.6	90.4	92.4	89.3
	研修室30	95.5	94.1	96.0	95.9	96.6
	小研修室1	98.3	98.8	98.9	98.8	99.4
	小研修室2	96.6	97.1	96.6	98.2	96.6
	小研修室3	95.5	92.4	92.7	95.9	98.3
	小研修室4	98.3	97.1	96.6	99.4	98.3
	和室研修室1	26.0	42.9	36.2	31.8	2.8
	和室研修室2	93.2	97.1	93.8	96.5	15.8
	音楽スタジオ大	90.4	91.2	88.7	93.5	91.5
	音楽スタジオ小1	81.9	87.1	81.4	92.4	91.5
	音楽スタジオ小2	66.7	61.2	58.8	67.6	71.2
	パソコンルーム	78.5	84.1	81.4	83.5	82.5
クラフト室	78.5	82.4	84.2	79.4	73.4	

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報誌、各種情報誌、ラジオなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	<b>1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務</b> ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 <b>2. 男女共同参画推進業務</b> ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 <b>3. 市民芸術文化振興業務</b> ①芸術文化への参加・参画の促進 ②芸術文化を担う人材の育成、顕彰 ③芸術文化施設の充実 ④伝統的芸術文化の伝承や活用 ⑤芸術文化による地域活性化 ⑥新たな協働による芸術文化の振興	<b>1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務</b> ①ハートフルレクチャー1講座開催、27人受講。ふるさと発見講座2講座開催、150人受講。各種団体との連携講座3講座開催、延べ163人受講。災害・防災関連事業1講座開催、53人受講。ITコラボレーター会と協働でパソコン講座を開催、延べ1,650人受講：16講座、各7回。 ②市民自主講座30講座開講、パソコン指導者養成講座2講座開催、延べ55人受講。ボランティア基礎講座開催、延べ111人受講 ③地域貢献事業 FC岐阜岐阜市ホームタウンデー(300人)。にぎわい創出事業 大人のためのレクチャーコンサート(120人)。大道芸に挑戦しよう(3日間：210人参加)。おいでよ交流サロン(2日間：170人参加)。ハートフルムービー無料上映会(5日間：95人参加)。 ④市民活動ルームを運営(延べ6,847人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(228件の相談、73件のボランティアコーディネート)。ハートフルスクエアG情報誌の発行(6月、9月)。 <b>2. 男女共同参画推進業務</b> ① プラチナ世代応援セミナーなど4事業開催、延べ544人受講。 ② 「岐阜市女性センターNEWS」3号発行(8月)。 ③ 男女共同参画週間事業など3事業開催、延べ1,856人受講。 ④ 電話・面接相談など3事業開催、延べ相談件数768件(電話相談：417件、面接相談：213件、大相談会：53件)。 <b>3. 市民芸術文化振興業務</b> ①市民文化祭(美術展覧会・芸術祭・文芸祭)の開催及び準備 ②芸術祭、文芸祭の開催及び準備、市芸術文化協会と連携し、岐阜子ども文化クラブ(2日間)開催 ③文化会館等を活用し、美術展覧会・芸術祭の開催及び準備 ④文芸祭の準備(応募人数：970人) ⑤岐阜市芸術文化奨励賞の準備 ⑥市芸術文化協会との連携によるリレートーク(2回)、ましかどコンサート(1回)の開催、広報紙の発行(7月) 自主事業の実施(市民芸術文化・スポーツ基金文化事業助成、上期応募9件中内定8件、下期応募7件中内定7件)
施設管理	<b>日常点検(保全)業務</b> ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検) <b>法定点検業務</b> ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) “ (16・13項目)(年2回) “ (12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦自家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回) <b>定期点検業務</b> ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備保守点検(年2回) ④自動扉保守点検(年4回) ⑤パソコン及び周辺機器保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回)	<b>日常点検(保全)業務</b> ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし <b>法定点検業務</b> ①7/31に実施 ②5/23、7/18、9/19に実施 ③毎週水曜日に実施 7/9に実施 9/20に実施 ④下半期に実施 ⑤下半期に実施 ⑥9/7～/21に実施 ⑦5/10、7/6、9/25に実施 ⑧下半期に実施 ⑨下半期に実施 ⑩下半期に実施 ⑪今年度該当しない <b>定期点検業務</b> ①リモート点検で毎月実施 ②4/24、5/29、6/26、7/31、8/28、9/25に実施 ③6/26に実施 ④6/26、9/25に実施 ⑤4/24、5/29、6/26、8/28、9/28に実施 ⑥9/11に実施 ⑦7/31に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなどをしている。 ③関係法令を順守し、運営されている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>実施期間:4/8~4/14、5/15~5/21、6/1~6/7、7/1~7/7、8/8~8/14、9/1~9/7 アンケート総数:204件</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○利用した部屋は 大研修室 4.9%、中研修室 9.3%、研修室50 9.3%、研修室30 8.9%、小研修室1 12.3%、小研修室2 9.8%、小研修室3 12.8%、小研修室4 10.8%、和室研修室1 3%、和室研修室2 6.4%、音楽スタジオ大 2%、音楽スタジオ小1 3.5%、音楽スタジオ小2 1.5%、クラフト室 5.4%、パソコンルーム 0.1%</p> <p>○スタッフの対応について 満足 76.0%、ほぼ満足 10.8%、ふつう 13.2%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p> <p>○施設や設備の管理状況(整理整頓、壊れた個所の有無など) 満足 69.0%、ほぼ満足 19.7%、ふつう 10.3%、やや不満 1.0%、不満 0.0%</p> <p>○全体的な満足度 満足 71.4%、ほぼ満足 20.7%、ふつう 7.4%、やや不満 0.5%、不満 0.0%</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>いろいろなものがおかれていて、何が催されているかわかりづらい。部屋まで行けない。 →講座やセミナー、イベントの案内はお客様の目の付くところに設置しておりますが、その日の催し物が分かりにくいという事で、ご不便おかけし申し訳ございませんでした。今後、施設全体としての催し案内について検討させていただきます。</p> <p>Wi-Fiもしくはインターネットが使えるとよい。 →Wi-Fiの設置は現在ございません。有線LAN(無料)が大研修室と中研修室に設備してありますのでご利用下さい。(LANケーブルは事務所で貸し出しいたします)Wi-Fiの設置については、すぐに対応はできませんが、ご意見として所管課と協議させていただきます。</p> <p>4人か5人で使用するので小さい部屋の数が増えるとうれいですが。 →少人数での研修の際は小研修室の1~4をご案内しております。夜間区分などは空いている日も多くありますので、ぜひご利用ください。</p> <p>エアコンのスイッチのカバーが一部かけています。 →ご迷惑おかけしました。職員ですぐ修理いたしました。</p> <p>駐車料金が(一日利用の場合に)高いのは負担に思います。 →減免時間と駐車場料金設定に関して、条例の改正の可否も含めて所管課と協議させていただきます。ご意向に沿えるかわかりませんが、今後も利用者の方に使いやすい施設を目指してまいります。</p> <p>ゴミ箱が常設されていると有難いです。 →研修室内の活動で出たゴミに関しては、現在利用者の方にお持ち帰りをお願いしております。細かなごみに関しては、お部屋のほうき・ちりとりをご利用ください。</p> <p>清掃が行き届いています。ブラインドは全部下げておくのでしょうか。 →お部屋のブラインドは、通常開いたまま下げてお使いいただいて、必要に応じて閉じてお使い下さい。</p> <p>何度も書きますが施設一日利用料に対しての駐車場料金が高すぎる点での改善はないのでしょうか。 →減免時間と駐車場料金設定に関して、条例の改正の可否も含めて所管課と協議させていただきます。ご意向に沿えるかわかりませんが、今後も利用者の方に使いやすい施設を目指してまいります。</p> <p>マイクが最初音が出ませんでした。途中から出ました。 →マイク本体もしくは操作卓・スピーカーに原因があるかと考えられます。不具合がありましたら、すぐに職員までお申し出下さい。音が出るようになるまで操作の立ち合いをさせていただきます。</p> <p>申し込みが半年くらい迄申し込めると有難い。 →使用許可の申請は、使用日の3か月前の日の属する月の初日からという旨が、生涯学習センター条例施行規則で定められており、基本的にそれ以前にはお受けできません。</p> <p>トイレはセンサーにしたら良い。 →現在、照明と手洗い場の水道に関してはセンサーとなっておりますが、大便器には自動洗浄機能はありません。利用者の方にとって使いやすい施設となるよう今後の参考にさせていただきます。</p> <p>電車が通る際の音と振動が気になってしまいます。 →高架下を利用した施設ですので、電車の振動や騒音は避けることはできません。何卒ご理解いただき、引き続きご利用いただければ幸いです。</p> <p>小研修室4の椅子が少し前から変わりましたが、机に対して椅子が低い気がします。ご一考願えればと思います。椅子が変わりましたが、前の椅子のほうが使い易かったです。 →椅子はシミ・汚れ等の激しいため、昨年度他の研修室と同じタイプの椅子に入替えをしました。以前のものとタイプが異なる為、ご不便をおかけして申し訳ございません。次回の入替えの際に検討させていただきます。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の視点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
	区分評価					A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	A	A	A
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	A	A	A
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	A	A	A
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	A	A	A
区分評価					A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	管理経費削減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きく離れていないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか。	S	S	S
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	S	S	S
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民参画部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	S	S	S
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエアG内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	S	S	S
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p><b>生涯学習センター</b></p> <p>指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行った。</p> <p><b>&lt;実施事業&gt;</b></p> <p><b>生涯学習係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートフルレクチャーでは、岐阜市での話題性から、長良隕石を題材にした「宇宙からの贈りもの～長良隕石を探ろう～」を小中学生対象に実施した。特に長良隕石は、実物を見て触ることができたため、講演のみでは得られない講座とすることができた。</li> <li>・ふるさと発見講座では、熊谷守一に焦点を当てた「孤高の画家 熊谷守一」を実施した。2人の講師から異なる角度で講演し、好評を得ることができた。また、講座と同時期に、熊谷守一に関わる展示「熊谷守一と木村定三」を開催した。それにより、講座受講者のみでなく、施設来館者に対しても学習機会の提供をすることができた。</li> <li>・今年度の市民自主講座では、市民や講師の要望から、受講者募集の際の講座一覧を、会場別からジャンル別の掲載とした。受講者にとって、受講したいジャンルの講座を検討しやすくなることができた。</li> <li>・中高生を対象としたボランティア基礎講座では、前年度の課題から、休日から平日に開催曜日を変更して実施した。それにより、多様な団体から協力を得ることができ、中高生が興味を抱きやすい活動で実施することができた。また、講座後に行った活動紹介の展示では、ハートフルスクエアGの他、新たにメディアコスモスに於いても実施し、広く活動の周知をすることができた。</li> <li>・第3次岐阜市生涯学習基本計画において、「福祉施設の生涯学習機能の充実」が課題とされているため、市内13の児童館・児童センターを訪問し、まなバンクやボランティア団体の活用方法の説明を施設長に行った。その後、児童館から活用方法について相談があり、周知につなげることができた。</li> <li>・ボランティア団体やまなバンクの活用促進のため、市内小中学校PTA会長会や母親学級会長会、子ども会育成会会長会でPRした。その後、PTA会長や子ども会から相談があり、コーディネートにつながった。</li> <li>・地域貢献事業として、「FC岐阜 岐阜市ホームタウンデー」に参加した。「FC岐阜応援缶バッジ作り」のブースを出展することで、イベントのにぎわい創出に貢献することができた。また、当施設のPRも行うことができた。</li> <li>・情報コーナーにキャリア開発に関するスペースを設置し、仕事に生かせる講座等の情報提供を充実した。</li> </ul> <p><b>文化振興係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術展覧会の会場を「みんなの森 ぎふメディアコスモス」に移すにあたり、展示について委員会を開催し、過去の展示の反省点を参考にしながら、さらに見やすく会場の一体感をだせるような改善策を検討した。</li> <li>・市民芸術祭演劇の部において、演劇鑑賞の機会を増やし、気軽に演劇を楽しんでいただくための新たな試みとして、カフェでの公演を計画し、実施した。</li> <li>・文芸祭(一般の部)全体では、昨年度に比べ応募人数は減少したが、応募点数は増加した。8月16日に審査を終え、11月に表彰式と入選作品集を発行予定である。</li> </ul> <p><b>&lt;その他&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次「岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」の策定に伴い、センター職員に対し所管課(男女共生・生きがい推進課及び文化芸術課)から岐阜市の生涯学習及び文化芸術に関する基本方針と施策のレクチャーを受けた。今後センターに求められる役割を確認し、共通理解を図ることができた。</li> <li>・相談コーナー担当職員のスキルアップのため、岐阜県社会福祉協議会主催のボランティアフェスティバルに参加した。その他にも業務に関わる研修や講座に積極的に参加することで、職員の資質向上と業務の拡充を図った。</li> <li>・職員のスキルアップのため、ボランティアコーディネーションカ3級を新たに1名が取得した。</li> </ul> <p><b>&lt;施設管理&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からの要望を基に、改善すべきことを検討し、以下の事項に取り組んだ。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 市民活動ルームの改善 登録団体のミーティングスペースが不足している為、より多くの団体が利用できるように机の配置換えを実施した。</li> <li>② 展示スペースの増設 展示スペースにピクチャーレールを延長・増設し、より多くの展示が行えるように改善した。</li> </ol> </li> <li>・ホームページの見直しを実施し、利用者が知りたい情報をよりわかりやすく提供するため、以下の事項を実施した。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① トップページに利用者からのよくある質問をまとめたページを作成し、疑問点をすぐに解消できるよう工夫した。</li> <li>② 貸室のページに写真の他に平面図を追加し、部屋のイメージがつきやすいよう改善した。</li> </ol> </li> <li>・事故防止対策としての日常点検を強化し、見つかった危険箇所は迅速な改善を実施した。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 駐車場出入口前 排水溝段差解消 コンクリートの亀裂・段差による事故を防止するため</li> <li>② 3階駐車場コーナーガードの取替 柱のコーナーガードに破損が見つかったため</li> <li>③ 1階北出入口 扉の改修 劣化により扉が歪み、ドアの開閉がしにくい状態であったため</li> </ol> </li> <li>・防犯強化策として、防犯カメラによる抑止力効果を最大限に生かすため、職員や警備員の巡回を増やすと共に置引き防止等の注意喚起の掲示を増やした。また、不審者情報等をハートフルスクエアG全体で迅速に情報共有し、連携して対応している。</li> <li>・猛暑の影響による冷房使用の増加により、上半期の電気使用量、空調用ガス使用量は大幅に増加したが、館内空調の適切な温度管理および館内照明のこまめな消灯・間引きを確実に実施することで、できる限りの省エネに努めた。加えて、5月に電力供給会社を変更したことで、猛暑の影響による光熱費の増加を最小限に抑えることができた。</li> <li>・記録的な猛暑により、空調などの設備不調が相次いだが、迅速に対応することで、利用者への影響を最小限にとどめることができた。</li> <li>・施設の平等利用を確保するため、毎月1日に施設利用の抽選会を実施している。また、予約システムへの登録についての案内を窓口・電話等で積極的に行った。</li> </ul>
--------------------------	--

### <リスク対応>

- ・個人情報保護担当者を配置し、個人情報管理の徹底を図った。
- ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。
- ・非常時に備え、各職員が適切に行動できるよう図書館や消費生活センターなどの各施設と連携し、避難訓練(4月)を実施した。また、今期新たに防災士/防災リーダーの資格を取得した職員2名を中心に、緊急時、災害時の対応についてマニュアルを基に共通理解を図った。
- ・不審者が侵入した際の利用者の安全確保を目的に、ハートフルスクエアG全館合同で防犯研修(7月)を実施した。中警察署生活安全課の職員を講師に迎え、不審者への対応訓練とともに不審者を未然に防ぐ対策について研修を行い、全職員の危機意識を高めた。
- ・危機管理マニュアルに「事故発見時対応マニュアル」を新たに加え、全職員が事故発見時に迅速・的確に初期行動ができるよう体制を整えた。
- ・「応急手当協力事業所」登録施設として、職員全員がAEDを的確に使用できるよう普通または上級救急救命講習を受け、施設内のみならず、駅周辺での急病人や負傷者の応急手当や救急隊到着までの応急措置を行った。

### <受入れ事業>

- ・岐阜市からの依頼を受けインターンシップ受入れを行った。30年度は8月6日から8月31日の期間で7名を受け入れ、生涯学習センター・女性センター等で様々な体験の場を提供した。
- ・JR駅周辺施設連絡協議会との共催事業で、小学生の職場体験の場として夏休みに生涯学習センターで14名を受け入れ、館内施設で学びの機会を設けた。
- ・市内中学校からの依頼により、中学生職場体験プログラムで2名を受け入れ、生涯学習センター・女性センターで様々な体験の場を提供した。他にも、市内の特別支援学校高等部からの依頼により、校外学習の一環で1年生～3年生4名の生徒対象にハートフルスクエアGの施設紹介、サービスの利用方法の案内を行った。

### <その他>

- ・応急手当協力事業所として、地域の方の安全安心に貢献した。
- ・快適な公共空間を提供するためアダプトプログラムに参加し、ハートフルスクエアG全体で施設周辺の美化に努めた。

### 女性センター

- ・指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、主催事業の開催について計画通りに実施した。

### <実施事業>

- ・「女性の活躍応援セミナー」(5～6月)を実施。全5回のコース講座であったが出席率が96%、満足度も91%と高かった。今年度においては個別カウンセリングに加え、各回終了後に交流会も行った。約半数の受講者が参加しており、再就職に向けてのモチベーションを高める機会を提供することができた。また、男女共同参画情報誌「織」の編集委員にも、ここ数年で一番多い9名の方が参加することとなった。
- ・前年度より開催し3回目となる「女性のための生き方・働き方大相談会」(5月)では、前回までの利用状況やアンケート等をもとに内容を見直して10種類の専門相談を実施。新たに“仕事と暮らしの整理術”を加えたり、気軽に相談が受けられるように“精神科医に聞いてみよう”など相談名を工夫したことにより、半数以上の相談に定員を満了す応募があった。相談会全体の利用者満足度は91%と高く、専門家が丁寧に話を聞きアドバイスをしてくれて良かった、という意見が多く寄せられた。
- ・「男女共同参画週間事業」(6月)においては、3月に策定された第3次岐阜市男女共同参画基本計画に示された方針を踏まえ、講演会、交流会、展示を行った。長寿社会を予測した人生設計や男性の家庭参画など、男女共同参画について身近な視点で考える機会を提供することができた。また、展示企画の1つ「未来に羽ばたく 女性の起業家たち」では、前年度の「女性の活躍スキルUPアカデミー」受講者2名の作品展示を行った。来館者からの問合せも多く好評を得たため、展示期間を10日間延長した。
- ・前年度より実施している「女性の活躍スキルUPアカデミー(起業・創業編)」を2回から3回講座に拡充して開催した。新たにネットを活用した商品PRなどを内容に加えたことで、起業に向けてより具体的なイメージを持てる場を提供することができた。また、どの受講生も意欲的で、互いに情報交換を行う姿が多くみられ、セミナー後の交流会にも3分の2近くの方が参加した。
- ・「女性の活躍スキルUPアカデミー受講者支援事業」において、前年度の「女性の活躍スキルUPアカデミー」の受講者3名の方でこどもの部屋を活用した「みんなであそぼう」を企画。その第1期として7～9月の各月2回で英語を使ったリズム遊びを中心のイベントを実施した。自由参加であることから施設内でのみの広報であったが、各回予想を大きく上回る親子が参加し、リピーターも多かった。また、企画者3名それぞれにとっても得るものが多く、1人は自身での活動を始めることに至った。
- ・面接相談の1つ「再就職相談」では、利用者から“平日に相談したい”との声が寄せられていたため、実施日を毎月第1・3土曜日から第1土曜・第3水曜日に変更した。結果、上半期の相談件数は24件から34件に増加した。

### <その他>

- ・災害時における男女共同参画の啓発を図るため、職員が防災士/防災リーダーの資格を取得した。
- ・男女共同参画プラザ主催の「ジェンダー指数と女性の問題」や「LGBTIについて」をはじめとする、相談員対象の研修に積極的に参加した。また、ケース検討会等を行い情報共有することで、職員の専門性の向上と相談業務の拡充に努めた。
- ・「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」の策定に伴い、センター職員に対し男女共生・生きがい推進課から岐阜市の男女共同参画に関する基本方針と施策のレクチャーを受けた。今後センターに求められる役割を確認し、共通理解を図ることができた。

今期の取組み  
に対する評価

<p>前回までの意見の 取組み状況</p>	<p><b>生涯学習センター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度においても市民活動交流センターのボランティア相談業務を受託している。当センターの相談コーナーの運営において、交流センターと連携して業務を進めていく中で、相互に改善工夫を行い、市民サービスの向上に努めている。</li> <li>・生涯学習やボランティアの関係機関(県の担当課、生涯学習・NPOプラザ、県社協、市社協)と定期的に情報交換することで、市民サービスの向上に努めている。</li> <li>・毎週、係会を実施し、職員間の情報共有や講座企画案の検討をすることで、市民ニーズに沿った事業展開に努めている。</li> <li>・講座の話だけで終わるのではなく、関係する書簡や成果物を展示することで学びの連鎖に繋げることができた。</li> </ul> <p><b>女性センター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度作成した男女共同参画啓発誌「Light」を主催講座にて配布。講座開始前に啓発誌を用いて男女共同参画の説明を行うなど、多様な場面で活用し、男女共同参画の推進に努めた。また、パネルにおいても情報コーナーに常設したり、「男女共同参画週間事業」の企画展示の中でも掲示するなど幅広く活用し、啓発に努めた。</li> <li>・昨年度リニューアルした「女性センター情報コーナー」の運営において、センターの“学習・交流・情報・相談”4つの機能に分けて、情報を掲載するなど、より情報が得られやすいように工夫・改善に取り組んだ。</li> <li>・「女性の活躍スキルUPアカデミー受講者支援事業」として、男女共同参画週間事業での作品展示とこどもの部屋を活用した「みんなであそぼっ」を実施。セミナーのみならず、一人ひとりの可能性やチャレンジを“顕化する場”として、学んだ事を活かせる機会を提供することができた。</li> </ul>
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行っていく。</li> </ul> <p><b>生涯学習センター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習拠点施設として、「生きがいある豊かな暮らしの実現(生涯学習の推進)」を目指し、引き続き職員全員が共通理解のもとで、施設運営及び事業実施に取り組む。</li> <li>・施設利用者や講座受講者からいただく声に可能な限り応えられるよう、内容に応じて、所管課の指導を受けながら迅速な対応を心がけ、公共施設としての役割を果たしていく。</li> <li>・生涯学習拠点施設としての機能を活かしながら「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく「現代的課題に対応する生涯学習講座」を企画し事業の充実を図る。</li> <li>・「生涯学習によるまちづくり人材養成事業」では、ワークショップ中心から講演会形式とすることで多くの市民に受講していただき、将来的に岐阜市において地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成に努める。</li> <li>・「市民自主講座」の開講支援事業において、開講講師の「中間報告会」や受講者アンケートなどで得た意見を基に開催時期や回数などの運営方法の工夫改善に取り組み、次年度の計画を進める。</li> <li>・地元自治会の祭り等への協力やハートフルフェスタ2019の実施やホームページ・情報誌などを活用し、市民のニーズに応じた情報の発信に努める。また、みんなの森ぎふメディアコスモスやコミュニティセンター、公民館など地域に密着した施設と連携を図ることで、相乗効果による情報の共有・発信の充実にも努める。</li> <li>・生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援において、継続して受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、交流センターと多様な面で連携を深めることで、中間支援組織としての機能の拡充に努める。また、まなバンクを地域人材バンクとして、幅広い人材活用の検討を進める。</li> <li>・美術展覧会をぎふメディアコスモスで開催するにあたり、滞りなく実施できるよう現場を確認しながら計画を進めると共に多くの方々にご覧いただけるよう、また満足していただけるような展覧会を目指して、臨機応変に対応できる体制を整える。</li> </ul> <p><b>女性センター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画拠点施設として、岐阜市における男女共同参画社会の実現を目指し、引き続き職員全員が共通理解のもとで、施設運営及び事業実施に取り組む。</li> <li>・新規事業の「女性の活躍スキルUPアカデミー(リーダー編)」を実施し、リーダーに必要なマネジメントスキルを習得する機会を提供し、部下や後輩をまとめ、やる気を引き出す立場の女性リーダーの育成を図る。</li> <li>・下半期においても「みんなであそぼっ」(第2期・第3期)を開催。引き続き、女性の活躍スキルUPアカデミー受講者を支援する。また、今年度の講座受講者においても、ハートフルフェスタでのブース出展や次年度でのイベント企画、主催事業と連携した展示など、活動の場を提供し支援する。</li> <li>・男女共同参画の理解を深められるよう、昨年度作成した啓発誌の内容を補足するパネルを新たに作成する。</li> <li>・出張セミナーや大相談会などにおいて、ハートフルネットぎふ会員団体や講座受講者との協働を図ることで、活動の場を提供していく。また、活動を通して新たなネットワークを構築し、各団体・参加者のHPやSNSなど多様な形で情報発信していくことで、当センターの認知度向上につなげる。</li> </ul>

## ●所管課の意見

### 生涯学習センター

- ・施設の利用状況は、前年に比べ、稼働率、利用者数ともに減少しているが、使用料収入は増加している。
- ・利用者の声を聞くため、アンケート調査を継続的に実施しており、利用者の意見を取り入れ、利用者の要望に、柔軟に対応している。利用者からの要望等について、可能な限り迅速に対応しており、適正な運営がなされている。また、利用申込受付開始日に抽選会を実施しており、利用者の公平性を保つための努力は評価できる。
- ・市民講師の育成とその活動の場の提供を広げる「市民自主講座」の開講を支援し、講師として、受講者として生涯学習に取り組んでいる形を作れている。また、開講が決定した講座の中で、定員に達していない講座について、受講者の追加募集期間を設け、受講機会を広くしており、評価できる。
- ・中高生のボランティア基礎講座において、前年度も実施した追跡調査の結果を反映させて企画し、オリエンテーション・体験・フィードバックの中で協力団体が可能な限り参加し、受講生と協力団体との交流や繋がりを深めることができ、今後の活動にも期待したい。
- ・ボランティア団体やまなバンクについて、市内13の児童館・児童センター、市内小中学校PTA会長会、母親学級会長会及び子ども会育成会会長会に活用方法の周知をし、コーディネート業務に繋がったので評価できる。
- ・施設管理業務についても、特に問題はなく、早急に対応し、総合的に良好であると思われる。
- ・所管課との連携を元に事業が進められ、生涯学習の拠点施設として積極的な事業・施設運営がなされていることを高く評価できる。
- ・例年実施している各種団体との連携講座において、「災害時に元気と笑顔を！炊き出し体験講座」と災害・防災関連事業を開催し、災害時の支援活動や防災、減災啓発をテーマにし、より災害対策への関心を高める内容を実施しており、評価できる。
- ・文化振興業務は、市民及び団体との協働により事業が進められており、市民文化祭の開催に向けて、上期は準備を着実に進めている。
- ・昨年度は、美術展覧会が第70回、芸術祭が第30回と節目を迎え、企画展等の準備も含め大変賑やかに開催出来た。そのため、今年度の美術展覧会、芸術祭には昨年以上の取り組みをしていかないと評価として厳しい部分がある。ただし、場所を文化センターからみんなの森ぎふメディアコスモスに変更し開催するため、一昨年の経験を活かすことで、より良い美術展覧会にしていくため、施設の雰囲気を活かしつつ、昨年の第70回までの歴史やノウハウを踏まえた演出、展示方法などが出来る様に、調整していただきたい。

### 女性センター

- ・岐阜市の基本計画に則した事業に努められている。新規事業「女性の活躍スキルUPアカデミー受講者活動支援事業」では、昨年度開講した「女性の活躍スキルUPアカデミー(企業・創業編)」セミナーに参加した受講者のフォローアップとして、活躍の場を提供することを目的としており、利用者ひとりひとりに寄り添った伴走型で丁寧な支援は高く評価できる。
- ・「女性センター情報コーナー」においては、センターからの情報発信を来館者に見てもらえるよう、パネル等の配置やパンフレット等の配架に工夫が見られた。しかし、複合施設の中で、女性センターの所在が分かりづらいという指摘もあることから、今後、女性センターを初めて利用する方やハートフルスクエアGの来館者に「女性センター」の所在が分かりやすくなる工夫をしていただきたい。
- ・女性センター事業には専門的な知識が必要となる事業もあることから、専門性を高めるため新たな資格取得に励むなど、職員の意識が高いことが伺える。スキルを活かした事業の展開に今後も期待したい。

## ●指定管理者評価委員会の意見

- ・今回初めて防犯の訓練をされ、防犯の面を充実したことは良いことである。
- ・アンケートにおける満足度が、平成29年度下半期より、いずれのポイントも上がっており、非常に良い施設運営がなされていることが分かる。
- ・講座の開講時間帯について、働いている人も受講できるよう、柔軟に、広い時間帯で組むと良い。